カリキュラム区分	4カリ	シラバス区分	学部生

科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
共通教育科目	112	1年	後期	臨床検査学科	選択	文化人類学 Cultural Anthropology	30	2

担当教員					
森　日出樹＊					

関連するDPキーワード（看護学科）	
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。

関連するDPキーワード（臨床検査学科）	
○	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。
○	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。

授業目的

動物にはない人間独自の文化・社会・制度について学び、考えることで、文化人類学的な視点から人間の社会や文化を捉える力を身に付ける。さらには、医療人類学的な視点から、「病」や「いのち」の問題について考察を深める力を身に付ける。

到達目標（授業目標）

1. 文化人類学の視点から、人間の文化や社会を理解することができる。
2. 医療人類学の基本的な考え方を修得し、そうした視点から医療の現場を考察することができる。

回	授業計画（項目・内容と方法・担当者）
1回	はじめに：文化人類学とは
2回	婚姻制度（家族）の誕生①：インセスト・タブーの謎を解く
3回	婚姻制度（家族）の誕生②：女性の交換としての婚姻制度
4回	人間の経済活動①：モノの交換について―「買い物」と「贈与」

5回	人間の経済活動②：交換の違いがもたらす社会の違いについて考える
6回	分かち合い、助け合う人間：人類が進化の過程で身につけた人間特有の行動について考える
7回	言語と思考について①：認識の枠組みを提供するものとしての言語について考える
8回	言語と思考について②：二項対立の思考
9回	ジェンダーの文化人類学：性差と文化（社会）
10回	信仰と儀礼①：信仰の対象となるものについての考察
11回	信仰と儀礼②：儀礼・祝祭の時間・空間について考える
12回	医療人類学①：医療人類学入門
13回	医療人類学②：伝統的医療と近代的医療
14回	医療人類学③：「病」と文化、「いのち」と文化
15回	医療人類学④：現代の医療の現場について考える
16回	
17回	
18回	
19回	
20回	
21回	
22回	
23回	
24回	
25回	
26回	
27回	
28回	
29回	
30回	

成績評価方法及び基準

授業に対する取り組みの積極性20%、ミニレポート50%（25%×2回）、最終レポート30%.。トータル60点以上を合格とする。

教科書	使用しない。
参考図書等	授業中随時紹介する。

授業時間外の学習について（授業準備のための指示）

3回レポート提出があるので、各レポートのテーマに関して調べまとめる。毎週1時間程度の学習が必要である。

関連科目

前科目										
後科目	108	社会学	110	哲学						

実務家教員

備考	